



澤畑義照議員

問

●青部一沢間間の道路の拡幅工事の
推進状況について伺う

町長 平成18年3月、平成19年12月議会、一般質問において答弁しております。その要旨として、平成18年度は県に要望し、平成19年12月議会においては、県からも前向きな答弁をいただき狭隘箇所での拡幅について測量等を行い、その後2～3年かけて部分拡幅を行ないたいという県のお話を説明させていただき

質問 青部一沢間間の道路拡幅については平成18年3月、平成19年12月の議会での質問に対して「2年～3年にかかって拡幅される」という町長の答弁をいただいております。今後さらに交通量も増加すると予想され区民も拡幅又は待避所を作ってほしいと強く要望している現状の中で、今後安全に通行できるようにするために、どのような対策を立てて拡幅を実現するのか伺います。



青部一沢間間の狭隘箇所

ました。青部バイパス 崎平一青部間の青崎橋が完成したことにより、青部一徳山間の利用性が増し、通勤者を中心に交通量が増加しております。また観光シーズンには地元の方を含め、国道の迂回路として利用されています。青部一徳山間はもとより、主要地方道川根一又峡線につきましては、生活道路としての重要性もありますので、引き続き狭隘箇所の拡

質問 具体的にいつ、どのように県の方へ要望するのか。

幅改良等の要望を県の土木事務所等に続けていきたいと考えております。青部一沢間間の道路は見通しが悪く車両のすれ違いができませんので、現在踏査した結果、3ヶ所ほど路肩部分を、改良すれば待避場が、確保できそうな場所がありますので土木事務所に改良の要望をしてみたいかと考えております。地元の方々あるいは通行車両に不便を来していることは十分承知しておりますけれども、県全体の道路財源が限られた中で、町としては、現在町内で実施されております3バイパスの早期完成が大きな目標でありますのでそれと兼ね合いを考えたうえで、県等に要望活動を粘り強くしていきたいと考えております。

質問 全面的な拡幅ができないということになれば、待避所を早急につくっていただきたい。

町長 今後来年度の予算が本格化する秋に向けて最初の窓口である川根の支所に要望していきたいと考えております。

質問 全面的な拡幅ができないということになれば、待避所を早急につくっていただきたい。

町長 待避所の設置を県に要望し、地元の現案として、工事費の考えながらどのような方策も着手にこぎつけたいと考えております。

質問 通勤時間帯に通行車両の調査をしていただきたい。

町長 県に要望する時基礎的なデータは必要なので対応できる部分に対応していきたいと考えております。

また厳しい財政の中で特に青部バイパスの早期完成を願っておりますので町民の方々のご理解もいただきたいと思っております。

答

○待避所等を県に要望し、事業着手にこぎつけたい